

新たな向精神薬を適切に臨床現場で使用するために薬剤師が果たす役割

はじめに 10:00 - 10:20

『精神科薬物治療の変遷
- PCP 研究会処方調査の結果をふまえて - 』

座長 吉尾 隆 先生
(東邦大学薬学部医療薬学教育センター 教授)

Session1 精神科薬物治療の課題と対応 10:20 - 11:40

10:20 - 11:00 (40分)

『抗精神病薬の多剤併用の適正化』

座長 野田 幸裕 先生
(名城大学薬学部 教授)

演者 山之内 芳雄 先生
(国立精神・神経医療研究センター)

11:00 - 11:40 (40分)

『精神疾患の身体リスクと薬物治療』

座長 天正 雅美 先生
(社会医療法人北斗会 さわ病院 薬局長)

演者 中村 優 先生
(医療法人社団更生会 草津病院 内科部長)

一般演題(ランチョン) 11:50 - 12:50 (講演 10分 / 討論 5分 / 4演題)

『精神疾患における薬物療法』

座長 三輪 高市 先生
(鈴鹿医療科学大学薬学部薬学科 臨床薬学センター 教授)

精神科専門薬剤師セミナー 第10回記念講演 13:00 - 14:00

『新たな向精神薬の開発と臨床薬剤師の役割』

座長 吉尾 隆 先生
(東邦大学薬学部医療薬学教育センター 教授)

演者 石郷岡 純 先生
(CNS 薬理研究所 主幹)

Session2 病識に乏しい患者に対する心理教育、服薬指導 14:10 - 15:30

講義:
『病識が乏しい患者への面接技法 - LEAP - 』
(40分)

座長 吉尾 隆 先生
(東邦大学薬学部医療薬学教育センター 教授)

三輪 高市 先生
(鈴鹿医療科学大学薬学部薬学科 臨床薬学センター 教授)

ディスカッション:
『臨床の場面でどのようにLEAPを活用するか』
(40分)

演者 八重樫 穂高 先生
(地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立北病院)

おわりに 15:30 - 15:40

野田 幸裕 先生 (名城大学薬学部 教授)

日程 **2016年9月10日(土)**
10:00~15:40(開場 9:30)

会場 **TFTホール500・西館2F(有明)**

〒135-0063 東京都江東区有明3丁目4番10号

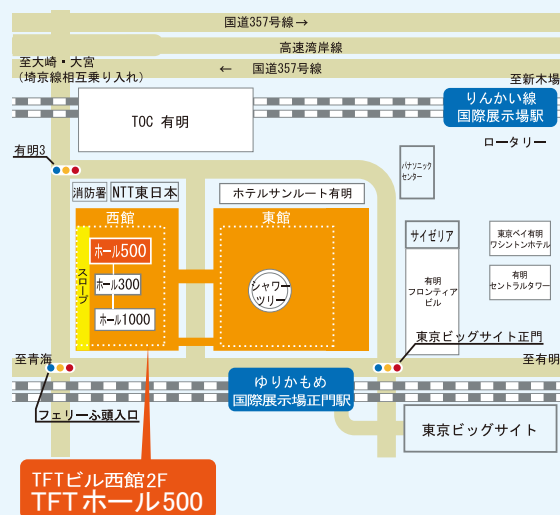
参加費: 4,000円(セミナー当日にご準備ください)

共催: 株式会社朝日新聞出版 / 大塚製薬株式会社 / 精神科臨床薬学研究会

後援: (申請中) 厚生労働省 / 日本神経精神薬理学会 / 日本精神科病院協会 /

日本病院薬剤師会 / 日本薬学会 / 日本薬剤師会 / 日本臨床精神神経薬理学会

認定単位: 本セミナーは(社)日本病院薬剤師会の精神科領域専門薬剤師・認定薬剤師の認定講習会として2.25単位を取得できます。(申請中)また、(財)日本薬剤師研修センターの集合研修として研修受講シール(3単位)を取得できます。(申請中)



当セミナー参加の申し込みは、各担当MRにお問い合わせ下さい。
または、下記フォームよりFAXまたはメールにてご応募お願い致します。

FAX : 03-5770-8231

メール : makita@m-rattle.com

第10回 精神科専門薬剤師セミナー

2016年**9月10日** (土) 10:00 ~ 15:40 (開場9:30)

TFTホール500(東京・有明) 〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10

参 加 申 込 書

TEL:03-5770-8230
(株)メディシンラトル内

精神科専門薬剤師セミナー事務局 担当：蒔田

第10回 精神科専門薬剤師セミナーに参加を申込みます。

※複数でお申込みの場合は、それぞれのお名前をご記入ください。

フリガナ
お名前

ご所属

ご住所

〒

TEL: ()

FAX: ()

講師・パネリストの先生へのご質問がございましたら、下記へお願いします。

楷書で明確にご記入ください。

演題募集 申込用紙

発表要旨

演題名、発表者（共同演者を含む）、目的、方法、結果、考察に分けてご記載ください。（800-1200文字程度）
ご応募いただきました要旨がそのまま、当日参加者に配布される抄録集に掲載されますことをご了承ください。
また、掲載にあたり使用されますスライドもご提出いただきますようお願いいたします。

こちらのFAX、又はメールから
ご応募ください。

FAX **03-5770-8231** 精神科専門薬剤師セミナー 事務局
蒔田行 [株式会社メディシンラトル]
メール **makita@m-rattle.com**

